

1. JR松橋駅周辺地域まちづくり基本構想

JR松橋駅周辺地域の現状

駅西側の現状

- 266号が渋滞する（JR鹿児島本線を横断する幹線道路がこれだけであるため）。
- 非常時に266号の代替路線がない
- 駅西側からのアクセスが、4か所の狭くて危険な踏切のみである。
- 集落の生活道路が狭く、行き止まりがあり、防災上問題がある。
- ミニ開発の乱立で住環境、営農環境などに支障をきたしている。
- 河川が雨期の排水容量をオーバーしている。

駅東側の現状

- まちなかに駐車場、公園、広場などのオープンスペースがない。
- 狭い道路、不十分な歩道のため連れだって歩けない。
- 県道松橋停車場線を大型車とおり危険である。
- 通過交通が多いため県道14号が慢性的渋滞となる。
- 住環境が悪化している（住宅地内の狭い道路、防災上も問題がある）。
- まちのシンボルとなるものがない。また、駅が新市の顔としての機能を果たしていない。
- 空き店舗やシャッターの閉まった店舗が見られる。
- 個店の魅力が若干不足している。
- 店情報の発信・PRが不足している。
- 商店街区分が消費者の認識と異なる。
- 商店会同士のまとまり、交流が足りない。

